



# 大衆文化の表象を通じた文化史研究

生命環境学部 生命科学科  
准教授 ロナルド スチュワート

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2402号室  
Tel 0824-74-1726  
E-mail ronstewart@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 文化史、日豪交流史、他者論、言語教授法

キーワード： 文化史、大衆文化、視覚文化、漫画史、日豪交流、アイデンティティ、他者論、明治時代、異文化間コミュニケーション、英語

## ● 現在の研究について

私の研究は主に大衆文化の表象を通じた文化史であり、大きく二つに分けることができる。一つは異文化交流の中で形成されるアイデンティティの問題である。もう一つは、その形成されていく「自己」と強く結びつき同時に相対化される「他者」を形作るプロセスとその意味である。

現在の研究課題は、1892年から2年あまり横浜居留地で漫画家として活躍した、オーストラリア人フランク・A・ナンキベルの日本での業績とその影響を中心に分析している。ナンキベルは日本で活躍した後渡米し、当時の有力な雑誌『パック』に漫画を描いた他、画家・版画家として日本風の木版画も発表するなど、米国で数多くの業績を残している。彼の作品および未出版自伝の原稿を通じて、帝国主義やモダニティという時代の流れに彼の仕事を位置付け、(1)「東洋」、「日本人」という他者との出会いによるナンキベルの変遷、(2)彼の教え子であり、「近代漫画の祖」と呼ばれる北沢楽天と、明治後期の視覚メディア全体に与えた影響、(3)日本体験から生まれた渡米後の彼の作品・キャリアへの影響(ジャポニスムなど)を探っている。

## ● 今後進めていきたい研究について

今までの主要な研究成果は次の論文で発表した。

● 「MANGAサイト」月に一回のコラム、読売新聞 2002年4月から2003年10月

● 「福沢の『開口笑話』：授業法およびステレオタイプ表象」『多元文化』第5号、2005年

● 「An Australian Cartoonist in the 19th Century Japan: Frank A. Nankivell and the Beginnings of Modern Japanese Comic Art (19世紀日本で活躍したオーストラリア人漫画家：フランク・A・ナンキベルと近代日本漫画の初期)」『International Journal of Comic Art (国際マンガ・ジャーナル)』第8巻2号、2006年

● 「Nankivell's Japan: From Means to Marker (ナンキベルの日本：手段から印へ)」、Pam Oliver & Michael Ackland (eds), 『Unexpected Encounters: Neglected histories behind the Australia-Japan relationship (不意の出会い：日豪関係における忘れられた歴史)』(モナッシュ大学アジア研究科出版、2007年)

これからもアイデンティティや「他者」形成のプロセス、または異文化交流史の理解向上等の研究成果が、歴史的な文脈の中で異文化交流を研究することが期待できる。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

・学校：授業、または異文化理解および異文化交流プログラムのアドバイス

・美術館・博物館：他者の表象、異文化交流、日豪交流史、視覚メディア史などの展示会計画の協力またはアドバイス